

第67期

中間期 株主の皆様へ

平成29年4月1日▶平成29年9月30日

Contents

私たちってこんな会社です。……………	1
連結財務ハイライト……………	2
トップインタビュー……………	3
セグメント別の概況……………	5
トピックス……………	7
連結財務諸表……………	9
会社の概要・株式の状況……………	10



私たちがこんな会社です。

高千穂交易は、産業と社会に新しい価値を提供します。

当社の提供する製品は、街やオフィス、家庭など、皆様の身近なところで広く活用されています。



プラント



高度防火システム (石油化学プラント)

オフィス



クラウド型
無線LANシステム



入退室管理システム



ネットワークセキュリティシステム

銀行



スライドレール
(ATM:現金自動預け払い機)



電子錠

ショッピングセンター・街中



商品監視ゲート



各種監視カメラ

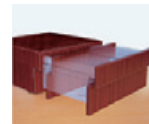


半導体・電子部品
(PC・デジカメ・スマートフォン)

家庭・住宅



揺動ダンパー
(自動車内装)



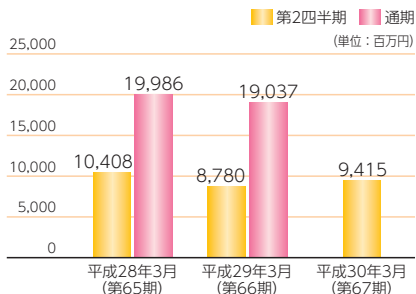
ソフトクローザーユニット
(リビング)



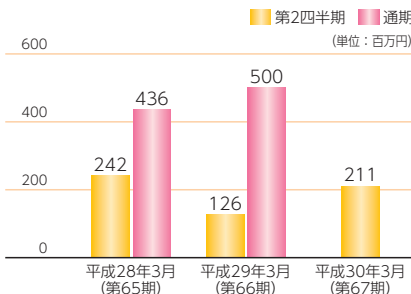
電動昇降ユニット
(キッチン)



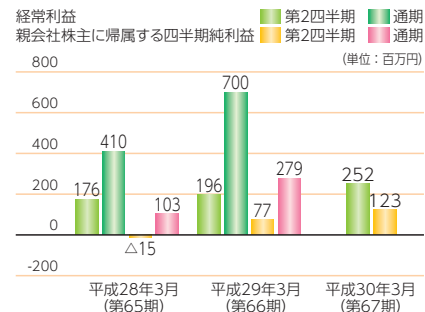
売上高 94億15百万円
(前年同期比 **▲7.2%**増)



営業利益 2億11百万円
(前年同期比 **▲66.7%**増)



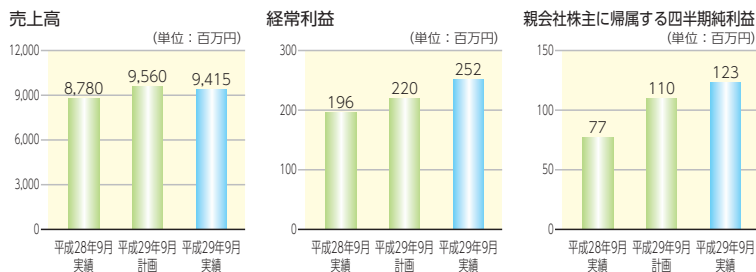
経常利益 2億52百万円
(前年同期比 **▲29.0%**増)
**親会社株主に帰属する
四半期純利益** 1億23百万円



平成30年3月期 第2四半期決算のポイント

- 増収増益、経常利益と四半期純利益は計画達成
- 売上増加に加え、販売費及び一般管理費の削減により増益
- セグメント別では、システム好調、デバイス苦戦

売上高・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益の前年同期及び計画との比較



通期見通しのポイント

- 中期経営計画の2年目として、新たな事業成長に向け邁進

売上高	21,000 百万円 (前年同期比 10.3%増)
営業利益	1,000 百万円 (前年同期比 99.8%増)
経常利益	1,000 百万円 (前年同期比 42.8%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	650 百万円 (前年同期比 132.4%増)

TOP INTERVIEW

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第67期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日
まで)の事業活動の概況をご報告申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長 戸田 秀雄



Q

まずは上期業績の総括をお願いします。

今年は、昨年5月に公表しました中期経営計画の2年目に当たり、「独自ソリューションの展開とグローバル事業の拡大による利益成長の実現」という中期経営方針のもと、その実現に向け取り組みを進めております。この上期業績は、デバイスセグメントが苦戦した一方で、システムセグメントが堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比7.2%増の94億15百万円となりました。

損益につきましては、販売費及び一般管理費が減少し

たことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てにおいて増益となりました。

商品別では、システムセグメントのセキュリティ商品類は、商品監視システムの更新需要を捉え販売増加につながったことや、大手携帯キャリア向けディスプレイセキュリティシステム及び外資系企業向け入退室管理システムの販売が好調に推移したほか、タイにおける防火システムの販売が前年同期比で伸張しました。その他ソリューション商品類では、クラウド型無線LANやRFIDタグが着実に販売を伸ばしています。この2つの商品類の販売増に伴い、カスタム・サービス商品類においても、設置料収入や保守

収入が増加しました。

他方、デバイスセグメントの電子商品類では、遊技市場やスマートフォン、デジカメ向けの販売が苦戦した一方で、半導体製造装置やIP-PBX(構内交換機)向け電子部品の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比で増加となりました。産機商品類では、オフィス家具や住宅設備向けの販売が底堅く推移した一方で、ATMや遊技市場向けの販売苦戦が響き、売上高は前年同期を下回りました。

このように、上期業績は全てのセグメント・商品類において好業績とはいかなかったのですが、増収となったシステムセグメントの更なる売上拡大策、また苦戦したデバイスセグメントにおいて新たな販売拡大策などを講じながら、通期計画の達成に向け努力してまいります。

Q デバイスセグメントの新たな販売拡大策とは。

これまで業績を牽引してきた海外ATMや国内遊技市場向けの販売が、市場全体の不振の影響を受け、苦戦しています。これを補うべく、フィルター交換が不要なサイクロン式ろ過装置「フィルスター」などの新商材の拡販に積極的に取り組むとともに、需要が伸びつつある国内外のオフィス家具・住宅設備市場に注目し、Takachiho

America, Inc.やTAKACHIHO KOHEKI(H.K.)Ltd.が中心となって北米及び中国の市場・取引拡大を進めるほか、提凱貿易(上海)有限公司による自動車内装部品の拡販など、産機ビジネスの強みである技術力と提案力をもって販売促進とグローバルビジネスの拡大に努めてまいります。



株主還元・配当方針について お聞かせください。

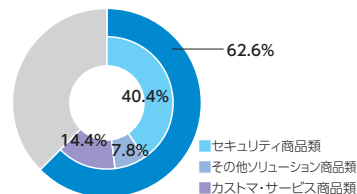
当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、安定かつ継続的な配当の実施という基本方針のもと、今期も予定通り年間24円(うち中間期12円)の配当を実施する予定です。一方、中・長期に亘る将来の持続的な成長に向けた投資にも注力し、内部留保を事業拡大に活用することで株主還元を果たしていきたいと考えております。また、p.7にも掲載しておりますが、6月の株主総会決議通知書に同封しました株主様アンケートでは、5,000名以上の株主様よりご回答をいただきました。複数の設問のほか、フリーコメントを通して多数の貴重なご意見を頂戴し、心より御礼申し上げます。これを真摯に受け止め、今後の経営に反映していけるよう努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



セグメント別の概況

システム : 3つの商品類すべてが増収、セグメントでも増収増益

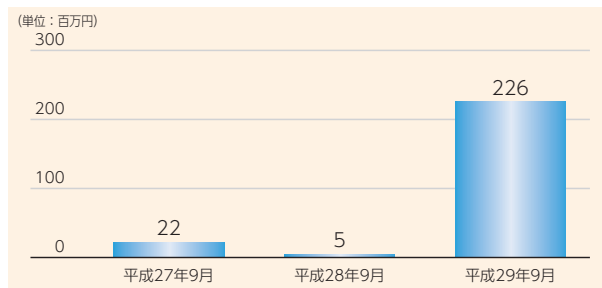
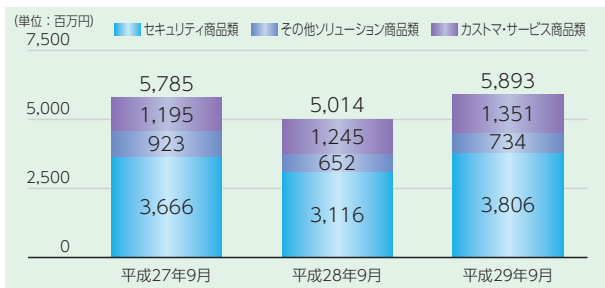
売上構成比



システム 売上高は前年同期比17.5%増の58億93百万円、営業利益は前年同期と比べて2億21百万円増加し、2億26百万円

売上高 **17.5%増**

営業利益 **2億21百万円増**



セキュリティ商品類 (前年同期比22.2%増)

商品監視システム、映像監視システム、ストアマネジメント関連システム、入退室管理システム、高度防火システムなど

商品監視システムの更新需要を捉え販売増加につなげたことや大手携帯キャリア向けディスプレイセキュリティシステム及び外資系企業向け入退室管理システムの販売が好調に推移したこと、タイにおける防火システムの販売が前年同期に比べ伸張したことなどから、売上高は前年同期比22.2%増の38億6百万円となりました。



その他ソリューション商品類 (前年同期比12.7%増)

RFID図書館管理システム、RFID物流・在庫管理システム、ネットワークセキュリティ関連機器、メールインサーティングシステム、クラウド型無線LANなど

クラウド型無線LANやRFIDタグの販売が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比12.7%増の7億34百万円となりました。



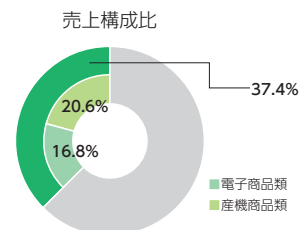
カスタム・サービス商品類 (前年同期比8.5%増)

システム機器の設置・保守、コンサルティング及びシステム設計、システム運用受託など

セキュリティ商品類及びその他のソリューション商品類の販売増に伴い設置料収入や保守収入が増加したことなどから、売上高は前年同期比8.5%増の13億51百万円となりました。



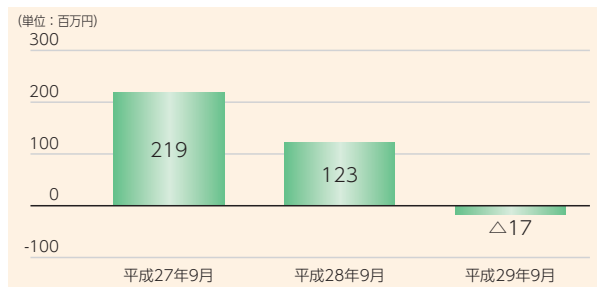
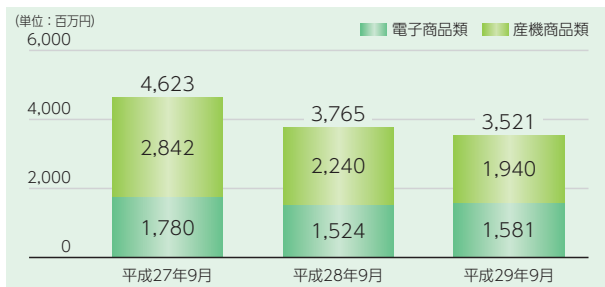
デバイス：電子商品類は微増収、産機商品類は減収、セグメントでは減収減益



デバイス 売上高は前年同期比6.5%減の35億21百万円、営業利益は前年同期と比べ1億40百万円減少し17百万円の損失

売上高 **6.5%減**

営業利益 **1億40百万円減**



電子商品類(前年同期比3.8%増)

半導体、シリコンマイク、各種センサーなど

遊技市場、スマートフォン、デジカメ向けの販売が苦戦した一方で、半導体製造装置やIP-PBX(構内交換機)向け電子部品の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比3.8%増の15億81百万円となりました。



産機商品類(前年同期比13.4%減)

スライドレール、ガススプリング、昇降システム、電子錠、ダンパーなど

オフィス家具や住宅設備向けの販売が底堅く推移した一方で、ATMや遊技市場向けの販売が苦戦したことなどから、売上高は前年同期比13.4%減の19億40百万円となりました。



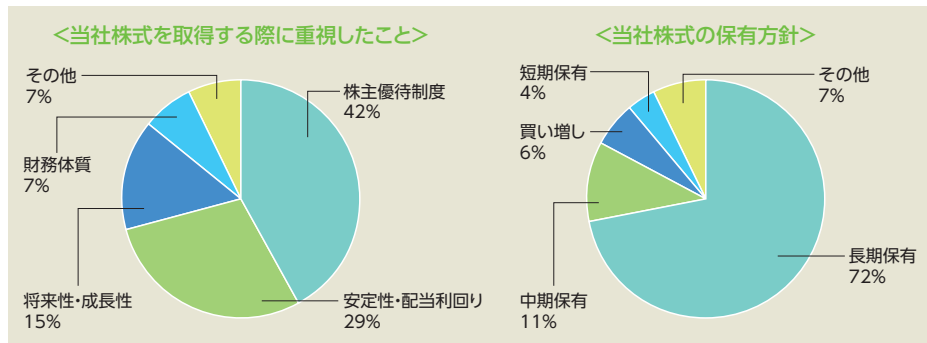
株主様アンケート結果のご報告

当社では株主の皆様との対話を重視しておりまして、その一環として広く皆様からのご意見を伺うため、毎年、簡易なアンケートを実施してまいりました。今年はより一層詳細なご意見を伺うために、6月の株主総会決議通知書にアンケートはがきを同封させていただきました。その結果、総株主の約37%にあたる5,445名の株主様からご回答をいただき、特に自由記述欄に大変多くのご意見をいただきました。

アンケートにご協力いただいた株主様に対し心より厚く御礼申し上げますとともに、皆様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動に活かしてまいります所存です。

ここに、ご回答いただいた内容の一部をご紹介します。

尚、当社ホームページには全問の回答結果を掲載しておりますので、そちらもご覧いただくと幸いです。

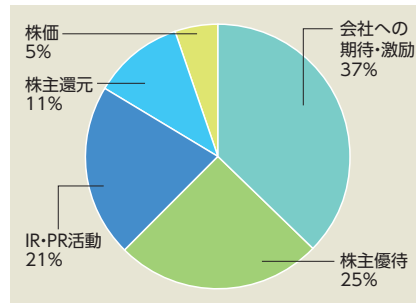


ポイント

優待制度や配当利回りをきっかけに保有いただき、その後、中長期に保有いただく方針をお持ちの方が大勢いらっしゃいました。

また、自由記述の中では数多くのご意見・ご要望をいただき、その内容を分類すると右グラフのようになります。早速、その中から次の3点に対応いたしました。

- 株主の皆様へお送りする郵便物の封筒の窓の部分に紙素材のものに変更し、封筒全体を紙資源としてリサイクルできるようにしました。
- 本誌「株主の皆様へ」の文字サイズを大きくし、読みやすいようにしました。
- 当社のことをより深くご理解いただくために会社説明会を実施いたします。開催概要は次の8ページをご覧ください。



当社では、今後とも株主の皆様からのお声に耳を傾け、今後の経営やIR活動に活かしてまいります所存です。

データセンターや外資系企業のハイレベルなセキュリティを実現する入退室管理システム

当社が取り扱うオフィスセキュリティの売上は、ここ2年程20%以上の増加を続けており、特に外資系企業様の採用が伸張しています。

近年、SNSの普及などに伴うクラウド利用やAI/IoTの発展により世界各国に開設が進むデータセンター（以降、DC）では、管理するデータを悪意のある第三者に改ざんされないよう強固なセキュリティで守る必要があります。当社では、以前よりセキュリティ意識の高い欧米企業様から高く評価されている入退室管理システムを販売しておりますが、更に監視カメラや各種生体認証機器のような多種多様な製品と組み合わせることでハイレベル且つ最適なセキュリティシステムを実現し、世界的大手DC企業様が日本に開設した施設にもご採用いただきました。

また当社の入退室管理システムは、DCのみならず、ハイレベルセキュリティによるオフィスセキュリティシステムのグローバルな統一が求められる多くの大手外資系企業様にもその信頼性の高さをご評価いただいております。当社は今後も高度なエンジニアリング力とプロジェクトマネジメント力をもって、お客様に最適なソリューション提案を進めてまいります。



データセンター（イメージ）



各種取扱いセキュリティ製品

会社説明会実施のお知らせ

日 時	2018年2月24日（土） 13:30～15:00（受付開始13:00）
場 所	高千穂交易株式会社本社 1階（JR・地下鉄四ツ谷駅徒歩3分）
出 席 者	代表取締役社長 戸田秀雄 他
内 容	事業戦略・業績/財務状況・製品の紹介等
募 集 人 数	30名様（株主様のみ。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。）
応 募 方 法	当社ホームページに専用ページを設けましたので、そちらよりお申込みください。
応 募 締 切 日	2018年1月31日（水）

※ご当選された方には後日、ご招待状をお送りします。



■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成29年9月30日	前期 平成29年3月31日
(資産の部)		
流動資産	15,347	15,699
固定資産	3,137	2,861
有形固定資産	304	304
無形固定資産	1,081	1,147
投資その他の資産	1,751	1,409
資産合計	18,485	18,561
(負債の部)		
流動負債	3,729	4,034
固定負債	704	691
負債合計	4,433	4,726
(純資産の部)		
株主資本	13,844	13,833
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,170	1,170
利益剰余金	12,249	12,237
自己株式	△783	△783
その他の包括利益累計額	197	△7
新株予約権	9	8
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,051	13,834
負債純資産合計	18,485	18,561

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	前第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
売上高	9,415	8,780
売上原価	7,118	6,474
売上総利益	2,297	2,305
販売費及び一般管理費	2,085	2,178
営業利益	211	126
営業外収益	43	71
営業外費用	1	2
経常利益	252	196
特別利益	—	11
特別損失	1	—
税金等調整前四半期純利益	251	207
法人税、住民税及び事業税	122	129
法人税等調整額	5	0
法人税等合計	128	130
四半期純利益	123	77
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	77

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	前第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	30	716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△263	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112	△294
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△127
現金及び現金同等物の増減額	△332	255
現金及び現金同等物の期首残高	5,563	5,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,231	5,428

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



■ 会社概要

設立	昭和27年3月
資本金 (平成29年3月31日現在)	12億921万円
従業員数	226名(単体)、500名(連結)
取引金融機関	みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行
主要業務	セキュリティシステム、情報ネットワークシステム、ICタグ応用システム、防火システム、半導体及び機構部品等の輸出入及び販売・据付・保守サービス並びにシステム設計・システム運用受託等サービス
ホームページ	http://www.takachiho-kk.co.jp/

■ 取締役・監査役

代表取締役社長兼社長執行役員	戸田 秀 雄
取締役兼執行役員	小原 敬 一
取締役兼執行役員	平山 英 樹
取締役兼執行役員	平田 嘉 昭
取締役兼執行役員	植松 昌 澄
取締役	和佐野 哲 男※
取締役	野中 隆 史※
常勤監査役	武智 良 泰
監査役	小海 正 勝※※
監査役	石原 良 一※※
監査役	大塚 康 徳※※

(注) ※は社外取締役です。※※は社外監査役です。

■ 執行役員

執行役員	横 戸 憲 一
執行役員	井 出 尊 信
執行役員	辰 己 一 道
執行役員	高 山 博 喜
執行役員	千 葉 芳 久

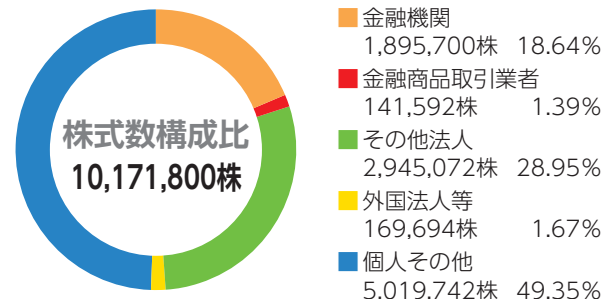
発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式の総数	10,171,800株
株 主 数	11,714名

■ 大株主

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社マースエンジニアリング	804,000	8.61
セコム株式会社	450,000	4.81
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	400,000	4.28
日立オートモティブシステムズ株式会社	380,000	4.06
株式会社みずほ銀行	300,600	3.21
株式会社マーストークンソリューション	265,000	2.83
高千穂交易従業員持株会	223,490	2.39
明治安田生命保険相互会社	216,000	2.31
ヒューリック株式会社	200,000	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	181,900	1.94

(注) 当社は、自己株式833,957株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式数を控除して算出し、小数第3位以下を切捨てて表示しております。

■ 株式分布状況



Crevita
TAKACHIHO

楽天市場、Yahoo!ショッピングで
3店舗運営しております。

crevita

検索

『面白いデジタル雑貨が見つけれられる!』



《商品一例》



crevita (公式ポータルサイト)
<http://www.crevita.net/>



crevita (楽天市場)
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/livingslide/>



crevita (Yahoo!ショッピング)
<http://shopping.geocities.jp/crevita/index.html>

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金 3月31日
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日
受領株主確定日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

【株式に関する手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関する手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話並びにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

TEL：0120-244-479（通話料無料）

インターネットアドレス：<http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <http://www.takachiho-kk.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
- 1単元の株式数 100株
- 株主優待制度 毎年3月末時点で100株以上保有している株主様に一律お米券3kg分を贈呈

TK 高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目2番8号
TEL 03-3355-1111 (代)
URL <http://www.takachiho-kk.co.jp/>

UD
FONT

